

ネットトラブルにあわないための置き薬

第2回

山西潤一： yamanisi@yamalab2025.com

富山大学名誉教授、富山県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会座長

佐藤宏隆： satou.hirotaka@flownexus.jp

フロー・ネクサス代表取締役、ITコンサルタント
セキュリティプレゼンター

SNSなどネット上での交流に困った時

1. SNSでの自分の投稿や交友関係に関するトラブル

知り合いだけのはずが、知らない人からコメントなど反応があった

知らない人とLINEが繋がった（友だちになった）

SNSなどネット上での交流に困った時

2. SNS上に投稿されている内容に関するトラブル

友だちからサングラスのセールのお知らせがくる

「拡散希望」と書かれた投稿が表示されるが、内容は正しいのか

必ず儲かる・・・友だちも「いいね」してるが、本当か

3. のっとり、なりすましに関するトラブル

友だちからスマホに届いたコードを教えてくださいと言われる

知り合いだけのはずが、知らない人からコメントなど反応があった

トラブル事例：意図せず知人以外に投稿を公開

- ・ SNSでは投稿した内容を誰が見られるかを自分で決める
⇒ FacebookやLINEは知り合いのみ、Twitterは公開が基本
- ・ 知り合いだけに見せるつもりで投稿した写真がそれ以外にも見られていた
⇒ タグ付けなど、「友だちの友だち」が閲覧できてしまうことが



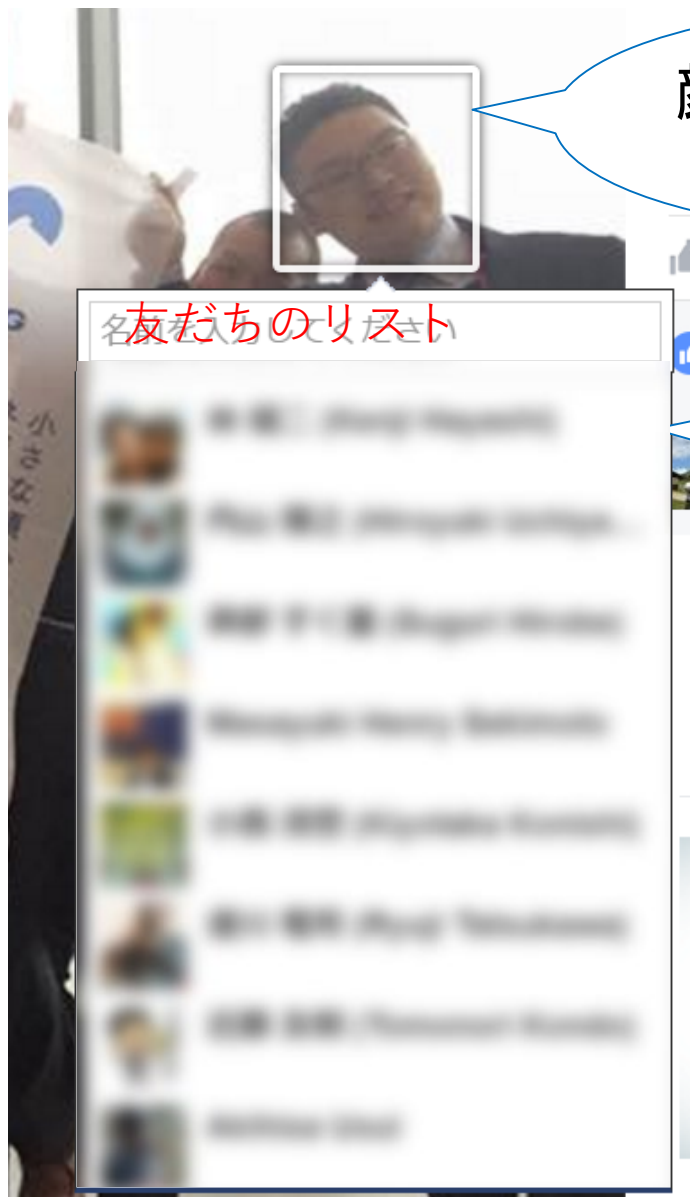
トラブルが発生した場合は

- ・ 該当する投稿を削除する、または閲覧できている人を確認して削除する
- ・ タグ付けの機能の設定を変更する

【参考：Facebook プライバシー基本ガイド タグ付け】

<https://www.facebook.com/about/basics/manage-your-privacy/tagging#1>

タグ付けって何？



顔をクリックする

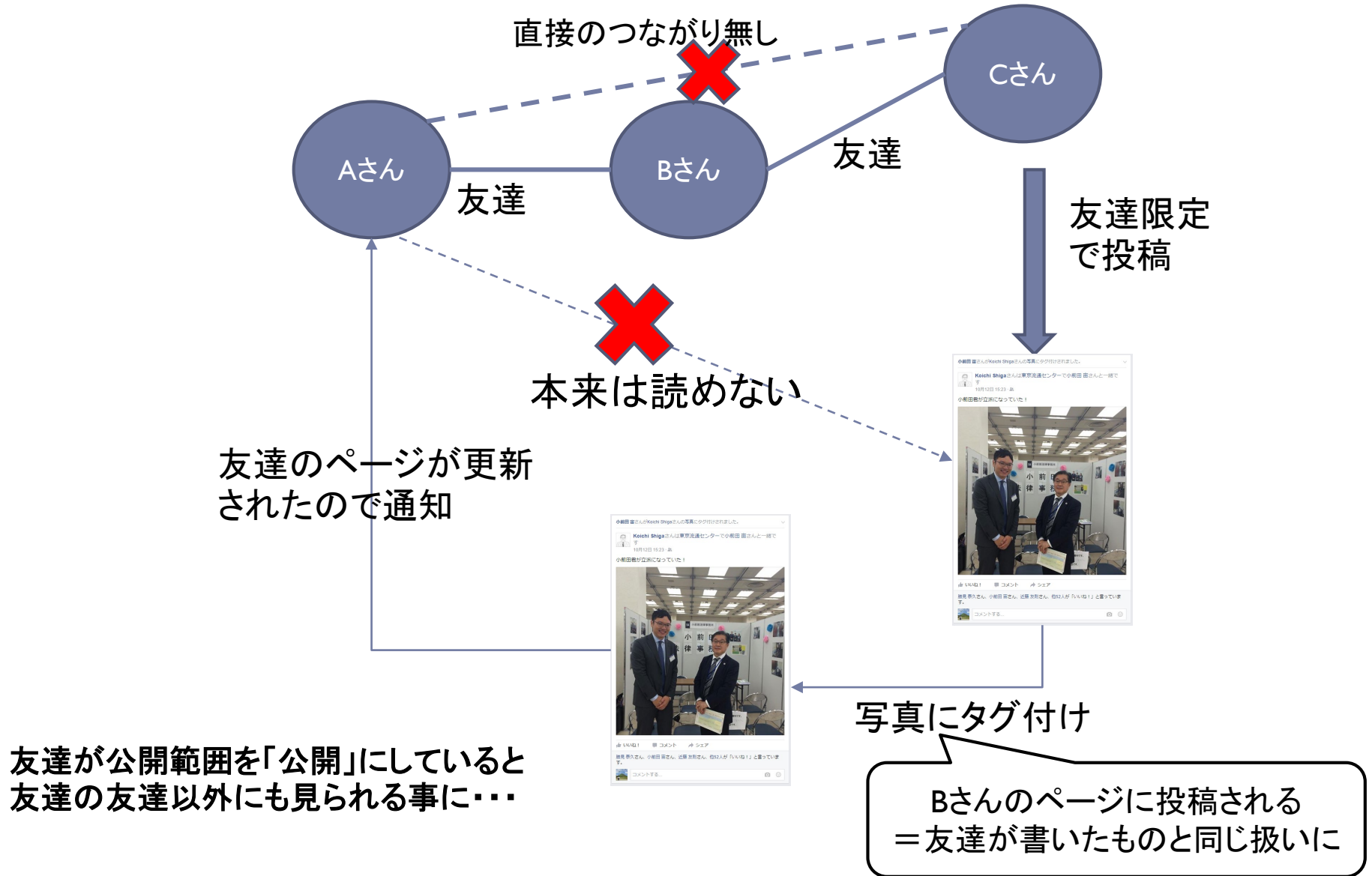
誰が写っている
か選択する



タグ付けされた本人に通知
後で自分の写った写真を探しやすくする



タグ付けされると何が起こる？



SNSの投稿で気をつけたいポイント

1. 知らない人に見られるかもしれないという意識

- ・公開範囲を「友だち」だけにしているも見えてしまうこともある
- ・他人のプライバシーに関することは載せない
- ・自分の事でも日常に関わることは公開しないことが重要
⇒SNSの投稿内容を元に泥棒に入られるなどの被害が・・・

2. 不要なことは公開しない・記録しない

- ・Facebookは多くのプライバシー情報の記録を求められる
⇒便利に使うための機能だが、記載するのは必要最低限にする
また記載した内容は誰が見られるのか、必ずチェックする

【参考：Facebookプライバシー基本ガイド】

<https://www.facebook.com/about/basics>

知らない人とLINEが繋がった（友だちになった）

トラブル事例：知らない人がLINEの友だちに

- ・突然身に覚えの無い人がLINEの友だちになった
⇒ニックネームのため、誰なのか特定ができない
- ・迷惑なメッセージが送られてくる事例も



トラブルが発生した場合は

- ・不明な相手であればブロックする

【参考 LINE Safety Center】

<https://linecorp.com/ja/safety/family#block1>

- ・友だちの自動追加設定を見直す

【参考 連絡先や電話番号による友だち自動追加を避ける】

<https://www.is702.jp/special/2028/#Content03>

LINE 友だち追加の仕組み

電話番号を知っているので「友だち」になってしまう

別の人が以前使っていた電話番号だった
知らない人が意図的に電話番号を登録した

ここが問題！

自分の電話番号を知っている人がLINEを始めた

自分の連絡帳に登録されている人がLINEを使っている

互いに
「友だち」として
自動追加する

使っている電話番号が変わっているが更新されていない人がある

当時の電話番号が割り当てられた別人が「友だち」になってしまう

友だちからサングラスのセールのお知らせがくる

トラブル事例：友達から怪しいイベントが届く

- ・サングラス等の通販
- ・有名ブランドの偽物
- ・広告ではなく、友だちの開催・紹介するイベントとして通知される



トラブルが発生した場合は

- ・本人に連絡する
- ・イベントには参加しない



SNSスパム広告



【大切なお知らせ】

偽造品・SNSスパム投稿に関するご注意

Ray-Ban(レイバン)は、サングラスを展開するグローバルリーディングブランドであり、世界中で幅広くご愛用頂いているブランドでもございます。偽造品販売会社や販売者は、その私たちのブランド名や人気の商品を騙ることで、消費者を偽造品購入へと誘い込みます。

私たちLuxottica Group S.p.A.並びに その子会社（ミラリジャパン株式会社）は、これからも愛され続けるブランド、商品として、正規商品と称して販売されている偽造品からお客様を守るよう、スパム投稿や偽造品を販売しているウェブサイト、広告、ネットオークション、取引掲示板のリストを削除する取り組みを積極的に行っております。

正規商品取扱店の情報やSNSスパム投稿・偽造品に関するご注意については、以下の情報をご確認くださいませ。

- ・自分のSNSアカウントを悪用され、勝手に広告を送られてしまう
→Facebook以外に、Twitter、Instagramでも被害がでている
- ・販売される商品は正規品ではない
→そもそも本当に販売するのもかも不明。二次、三次被害の可能性も

なぜスパム広告を出してしまうのか

1. アカウントの不正利用（IDとパスワードの流出）

- ・メールアドレス＝IDになっているケースが多い
⇒メールアドレスは様々な経路で流出
パスワードの使い回しや簡単なものであると不正利用の可能性大

2. Facebook等の情報を要求するアプリが悪用

- ・Facebookなどで表示される姓名判断等のアプリを使うと認証を要求
⇒この時不要な権限を与えてしまい、勝手に広告される事がある

「拡散希望」と書かれた投稿が表示されるが、内容は正しいのか

トラブル事例：デマ情報の拡散

- ・地震などの災害時に発生しやすい
- ・中には何年も前の画像を使って誤認させるケースも
- ・人の「善意」で拡散してしまう



トラブルが発生した場合は

- ・安易に拡散（リツイート）しない
⇒行政などの公式情報を確認する
- ・リツイートしてしまった場合は削除する



参考：熊本地震の際にTwitter上に発生したデマツイート

必ず儲かる・・・友だちも「いいね」してるが、本当か

トラブル事例：SNSでの勧誘・詐欺トラブル

- ・ LINE等を通じて投資をうたう勧誘が増加
 - ・ 仮想通貨、未公開株、外債など多様
- ⇒ かつては電話や訪問だった
手段がSNSに移行している



トラブルが発生した場合は

- ・ 内容に反応しない
- ・ 万が一何らかの対応をした場合は相談
ー 消費生活センター

仮想通貨 もうけ話のワナ

LINEで勧誘消えた100万円

「仮想通貨」は、国へ登録が必要で、法律に基づいて運営される。しかし、最近では「仮想通貨」の名を借りた詐欺や勧誘が増えている。特にLINEで勧誘を受けるケースが増えている。勧誘者は「仮想通貨」のメリットを強調し、高利の投資を勧める。被害者は「仮想通貨」のメリットを信じて、投資をした結果、100万円を失った。勧誘者は「仮想通貨」の名を借りた詐欺や勧誘を増やしている。被害者は「仮想通貨」のメリットを信じて、投資をした結果、100万円を失った。勧誘者は「仮想通貨」の名を借りた詐欺や勧誘を増やしている。被害者は「仮想通貨」のメリットを信じて、投資をした結果、100万円を失った。

年利数100% 客紹介で配当増

相次ぐ投資被害 訴訟へ

業界の監視強化 行政処分も

友だちからスマホに届いたコードを教えてくださいと言われる

トラブル事例：LINEのっとり

- ・ IDやパスワードを聞き出されてなりすまされる
- ・ なりすますことで、さらに被害を広げる
⇒ 友だちと信じてガードが緩む



トラブルが発生した場合は

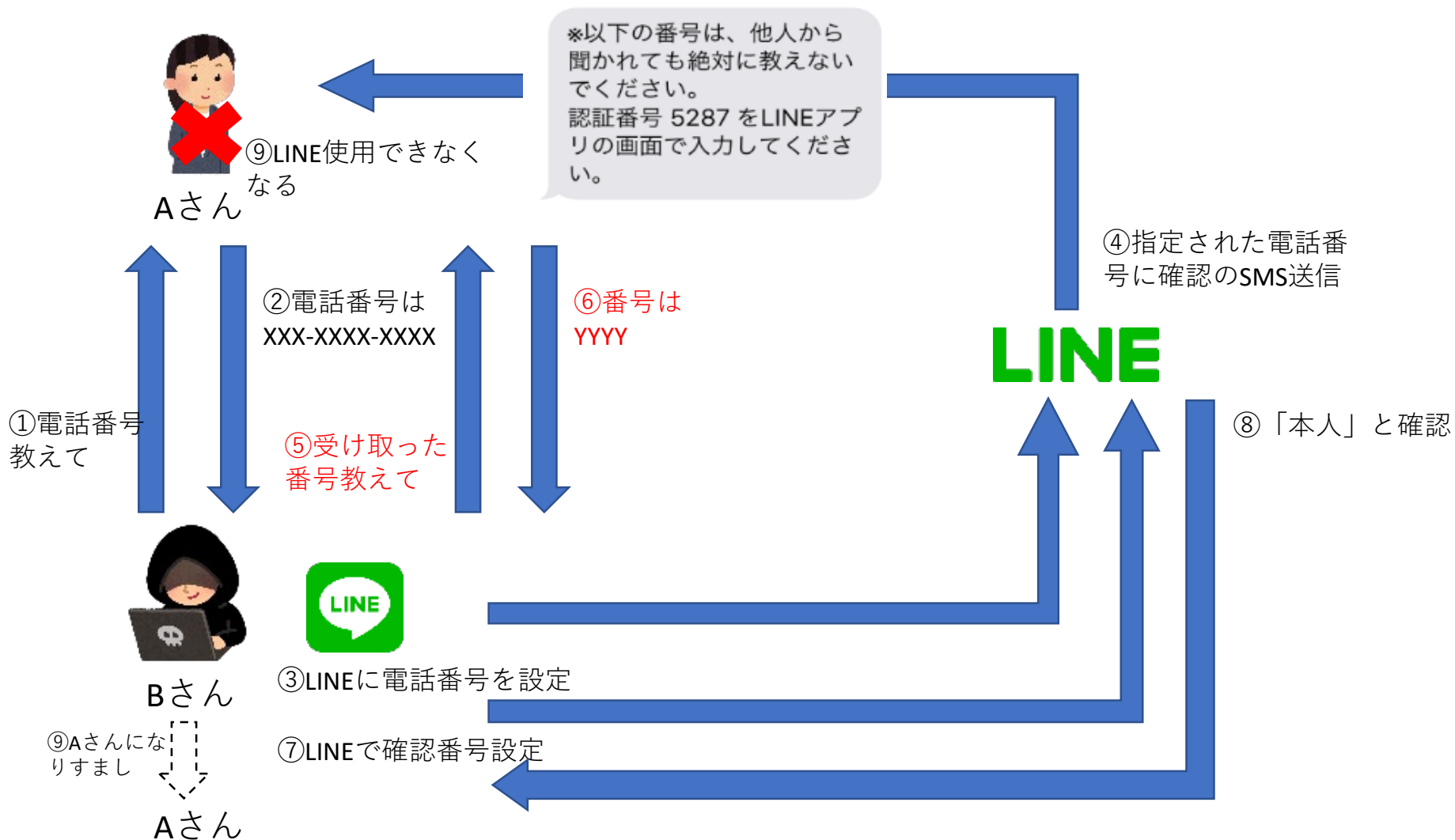
< 自分が乗っ取られた場合 >

- ・ LINEに連絡し、アカウントを停止する
- ・ LINE以外で連絡のつく友だちには対応しないよう連絡

< 友だちが乗っ取られている場合 >

- ・ LINE以外の方法で本人に連絡
- ・ 決して対応しない

LINE なりすまし（乗っ取り）の流れ



事例 同級生のLINEなりすまし

